

尾崎将司コース

尾崎将司コースは、壮大な地形を生かし、谷の回廊を抜けるホールが多い。また、ティーグラウンドは高台に位置し、フェアウェーは元々あったスロープに囲まれている。ファルド・コース同様、コースがオープンするときに熟成した雰囲気を出すために、なるべく元から生えていた木々を残し活かすように配慮された。要所要所にバンカーが戦略的に配置された壮大な芝と広々としたフェアウェーは、原産の木々が密生する高いスロープと対照的に映る。谷の回廊からの素晴らしい眺望は澄み切った湖も多く含み、自然に囲まれているという感覚を味わえる。バックティーからのプレイならかなり難しいホールではあるが、レギュラーティーや、もっと手前のティーからなら誰でも楽しめる。

このコースは距離の長いミドルホールから始まり、木々が覆う丘を抜ける、変化に富んだホールが続く。コースの最後を飾る18番ホールのティーグラウンドからは、素晴らしいホテルとクラブハウスとその背後にそびえる二つの山頂が一望でき、深い感銘を与える。このホールは、むき出しになった巨大な岩肌がむき出しになった丘の斜面を背景とし、湖を見下ろすグリーン(9番ホールと同じ)で終わる。劇的なコースの、劇的なフィニッシュ。

尾崎コース設計者： 尾崎 将司

スコアカード

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
黒	458	343	511	445	430	147	328	220	575	3457
金	436	309	484	425	414	125	305	200	557	3255
青	392	290	452	395	394	103	283	172	534	3015
白	362	284	427	380	367	103	270	172	497	2862
赤	330	237	397	364	360	87	204	125	481	2585
パー	4	4	5	4	4	3	4	3	5	36

ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	通算
黒	330	420	221	395	610	366	451	185	579	3557	7014
金	327	404	193	365	595	340	425	170	545	3364	6619
青	265	370	165	342	580	312	404	153	524	3115	6130
白	249	351	165	316	562	281	354	135	499	2912	5774
赤	232	310	130	211	527	240	318	122	484	2574	5159
パー	4	4	3	4	5	4	4	3	5	36	72

コースレイアウト

● 1番ホール - 458ヤード (パー4)

スターティングホールはやや右ドッグレッグする距離の長いパー4。高台にあるティーグラウンドは木々が立ち並んでおり、そこからは尾崎の創造的な作品を一望できる。

● 2番ホール - 343ヤード (パー4)

この距離の短いミドルホールにはバーディーチャンスも。高台のティーグラウンドからグリーンまでは池が続く。果敢に攻めるプレイヤーはスコアにかなりの開きがでるであろう。

● 3番ホール - 511ヤード (パー5)

このホールもまた、バーディーを狙える距離の短い、ダウンヒルのロングホール。ツー・オンのチャンスはあるが、グリーンはトリッキーで正確なアプローチが要求される。

● 4番ホール - 445ヤード (パー4)

グリーンへ最も狙いやすいアングルを残すには、1打目を左へ打つと良い。グリーンの上は池を見下ろす。長く、難易度の高いホール。

● 5番ホール - 430ヤード (パー4)

右ドッグレッグで排水路が横切る平均的距離のミドルホール。打ち下ろしのティーショットの後には、難しい打ち上げのアプローチが続く。



尾崎将司コース

■コースレイアウト

●6番ホール - 147ヤード (パー3)

この距離の短いショートホールでは、壮大な岩壁の上にあるティーグラウンドから、池を見下ろすグリーンへの打ち下ろしとなり、距離から想像する以上に早くグリーンに到達する。

●7番ホール - 328ヤード (パー4)

このホールはやや上り坂で、左から右へ抜けると、いくつかの深い、緑の丘の斜面の谷間に到達する。グリーンへ最も良いアングルを残すには、正確なティーショットが要求される。

●8番ホール - 220ヤード (パー3)

この距離の長い、ダウンヒルのショートホールには、フェアウェーよりも低地にあるボウル状のグリーンがある。巨大なバンカーがグリーンを囲む。

●9番ホール - 575ヤード (パー5)

高台のティーグラウンドからは、そびえ立つ山頂の麓にある谷へと進み、池を見下ろすグリーン(18番ホールと同じ)で終わる。グリーンの後には、存在感のある巨大な岩肌が顔を出す。

●10番ホール - 330ヤード (パー4)

短い、トリッキーなこのコースはランディングエリアの右側が急な傾斜になっているため、右に転がり落ちると難しい打ち上げのショットが必要になる。グリーンへ最も良いアングルを残すには、左へ寄せよう。

●11番ホール - 420ヤード (パー4)

ティーショットとアプローチショットともに、このジャングルの中の高くそびえる丘の斜面を曲がりくねって流れる池/小川を越えなければいけない。距離は平均的だが、難易度の高いホール。

●12番ホール - 221ヤード (パー3)

この最も距離の長いショートホールの高台ティーグラウンドから、自然の渓谷を背景にプレイする。グリーンへは左から右のショットでグリーンサイドバンカーを避けられる。

●13番ホール - 395ヤード (パー4)

このホールは、ダウンヒルでバンカーに縁取られた谷へ打ち下ろしとなり、正確なショットが要求される。ティーショットはアグレッシブに、右端を狙ってバンカーを越えればグリーンへ最も良いアングルを残せる。

●14番ホール - 610ヤード (パー5)

最初のランディングエリアから、2番目のランディングエリアまで急降下となっている分、若干は短く感じるが、非常に距離の長いホール。グリーンへ最も良いアングルを残すには、2打目を左に寄せるのが賢明。

●15番ホール - 366ヤード (パー4)

このミドルホールはやや上り坂で、フェアウェーのセンターを小川が縦に分断している。ピンポジションによって、グリーンへの最も良いアングルが決まる。

●16番ホール - 451ヤード (パー4)

コース中、最も難しいこのホールは、小川に縁取られた細い谷を右から左へぐるっと曲がり、右側が池に沿ったグリーンへと到達する。グリーン背景には、岩壁と密生した木々があり、美しい滝が流れる。

●17番ホール - 185ヤード (パー3)

この平均的な距離のショートホールは、池を越え、いくつもの段差があるグリーンへと進む。フェアウェーは急な下りのスロープがあるため、1打目をミスショットするとリカバリーが難しい。

●18番ホール - 579ヤード (パー5)

ティーショットは、2つの大きな山頂の間に見えるクラブハウスへ向かって打つ。ランディングエリアからグリーンまでは急降下となっており、池とバンカーに囲まれ岩壁が背後にあるグリーンまでダイレクトにオンするのはリスクが高いが、その価値はあるかもしれない。

■当コースでのチェックイン

深圳ゴルフクラブハウス

遅くともティータイムの30分前までに3階のフロントへチェックインしてください。

遅れた場合は、ご予約は自動的に取り消されますので、ご注意ください。